

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ララランド戸塚（みんなともだち保育園）	種別：認可保育所
代表者氏名：程島 洋子	定員（利用人数）： 30名（30名）
所在地：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町4912-2 ベルコート戸塚1階	
TEL：045-435-9255	
ホームページ：https://la-la-land.co.jp/c/	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2018年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社LaLaLand		
職員数	常勤職員： 7名	非常勤職員： 18名
専門職員	保育士 20名	看護師 1名
	管理栄養士 1名	社会福祉士 1名
	調理師 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室1、ほふく室1、保育室1、事務室（医務室兼）、調理室	屋外遊戯場（園庭）、事幼児用トイレ2

### ③理念・基本方針

#### 【保育理念】

自分の未来を創造できるこどもに

#### 【保育方針】

- <環境> 一人ひとりが輝ける場所 ～子どもは「百人百色」～  
すべての子どもが輝くためには、主体性を大切にしたい取り組みが必要です。  
当園では「レッジョ・アプローチ」の考え方を取り入れ、保育者は子どもたちの活動をサポートします。
- <言葉> 意思を伝える力を育む場所 ～「粹」にとらわれない世界観を作る～  
自分の思いや考えを伝える力。それは未来を切り拓くためには絶対不可欠です。  
当園では日本語だけでなく、英語も用いた言語活動により、伝える力を養います。
- <体験> 認める力を育む場所 ～本物に触れた体験でしか得られない世界～  
人は認めることで、自分自身が成長することができます。「農業体験」や「アート」、  
「異文化交流体験」を通して、様々な違いに触れ、混ざり合い、多様なものを認める力を養います。

#### 【保育目標】

- 安心感の中で穏やかで安定した子ども
- いつも自分を精一杯表現しようとする子ども
- 仲間、家族を大切に、一緒に生活を創り出すことを喜ぶ子ども
- 違いを認め合い楽しめる子ども
- より共感する力を持った思いやりのある子ども

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・乳児の園ということもあり、安心、安全で過ごせるように環境づくりや配慮を心掛けています。
- ・子どもが主体的に活動できるように、一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係が出来るように保育をしています。
- ・日々子どもたちが楽しめる活動を職員が考えて、保育を子どもたちと進めています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年6月24日(契約日)～2022年4月20日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

#### ⑥総評

##### ◆特に評価の高い点

##### ●子どもたちは保育士に見守られ、自分らしさを素直に言葉や身体で表し、園生活を楽しんでいます

保育士は、子どもの言葉や表情、仕草などから子どもの気持ちを汲み取って寄り添い、一つひとつ言語化して確かめることで、子どもが自分の思いを表出できるように支援しています。子どもの声を聞いて散歩の行く先を決めたり、行事の出し物を複数用意して子どもの反応を見て決めるなど、子どもの発信を保育に取り入れています。

保育室には、子どもの目線に合わせて複数のおもちゃを用意し、子どもが自分で選択できるようになっています。観察時にも、描かれたレールで友だちと電車で遊んだり、人形遊びをしたり、保育士の膝の上で絵本を読んでもらったりと、それぞれが好きなことを選んで遊んでいる様子を見ることができました。保育士は、子どもの遊ぶ様子を見守り、遊びのスペースを調整したり、遊び方のヒントを出したりしています。

このような働きかけのもと、子どもたちは素直に自分の思いを言葉や身体で表現し、その子らしくのびのびと園生活を楽しんでいます。

##### ●全職員で全園児のことを共有し、子どもの成長を楽しみながら保育しています

毎朝の申し送りや毎月の職員会議で、全職員で一人ひとりの子どもや家庭の状況と対応について共有し、個々の発達状況に合わせた支援ができるようにしています。年度初めの職員会議では、子どもの人権擁護や子どもへの対応について話し合い、一人ひとりの子どもを尊重した保育が実践できるようにしています。

保育士は、子どもの声に耳を傾け、子どもの小さな発信に共感し、子どもの小さな成功を共に喜んで、子どもとの信頼関係を築いています。日々の会議でも子どもの小さな変化を取り上げて話し合い、子どもが楽しみながら成長できるように遊びの設定を工夫したり、対応を共有したりしています。

保育士は、子どもの小さな成長を全職員で共有し、楽しみながら保育をしています。

##### ●保護者とのコミュニケーションを大切にしています

園は、保護者が園の取り組みを理解し、安心して子育てができるよう、保護者との関係作りに力を入れています。全園児連絡ノートを用いるとともに、朝夕の送迎時には保護者とコミュニケーションを取り、園での子どもの姿を伝えています。コロナ禍のため玄関での受け入れとなっていることを受けて、オンライン保育参観を実施し、朝の会や朝おやつなどの日々の子どもの様子を見る機会を作るなど、工夫しています。保護者からの子どもの生活や発達についての相談にも丁寧に応じ、必要に応じて園長も同席するなどしています。

このような取り組みを通して、保護者との関係性が作られていることは、今回の保護者アンケートの満足度の高さからもうかがわれます。

##### ◆改善を求められる点

##### ●文書化の取り組みを進め、保育実践の体制を整えていくことが期待されます

職員は日々子どもの様子について情報交換し、保育現場からあがった課題を職員会議等で取り上げて、皆で検討し、改善に向けて取り組んでいます。ただし、それらを文書化する取り組みは十分とは言えません。全職員で全園児のことを共有し保育していることもあり、課題等はその場で話し合っただけで柔軟に対応され、子ども主体の保育が実践されていますが、今後は文書化し仕組みとして整えていくことが期待されます。

### ●園としての事業計画を策定し、職員に周知していくことが期待されます

法人が策定した事業計画には中期的な方向性とそれに基づく年度の事業計画が記載されています。ただし、具体的な数値目標や成果等の策定はなく、園として評価できるものとはなっていません。職員と話し合って課題とその改善計画を明確化し、法人の事業計画に基づく園としての事業計画に落とし込み、職員と共有していくことが期待されます。

### ●地域との交流に取り組まれることが期待されます

毎日地域の散歩に出かけ地域住民と挨拶を交わしていますが、地域の福祉ニーズを把握したり、地域行事に参加するなどの取り組みは行っていません。子どもたちが地域を知り、経験値を広げるためにも地域と交流する機会を作っていくことが期待されます。また、育児相談や離乳食相談などの子育て支援を実施し、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、評価表を基に全職員で会議を行い、保育内容の確認、見直し等、共通理解をする事ができました。この度の受審により、登園の良いところ「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」についてほとんどの方が満足していただけたという結果を頂き、職員一同、この仕事をしていてこの言葉を頂けたことが喜びで、一人一人の励みになっています。ありがとうございます。

また、改善すべき点は、コロナ禍でなかなか機会をつくる事が出来なかった懇談会や地域交流などの機会も感染状況を見ながら進めていきたいと思っております。これを含めて当保育園の良いところ、改善すべき課題等多くのことに気付くことができました。良いところは、引き続き伸ばせるように課題は改善を図るように努力していきます。特に、保護者の皆様のご意見、ご要望にしっかりと耳を傾け、迅速に対応できるように体制や仕組みを整えると共に業務運営全般についての改善に努め、今まで大切に積み重ねてきた事を維持し、職員一同力を合わせて更なる向上を目指した保育、園運営をしていきたいと思っております。

現在、当保育園では、保護者の方々のお力添えも大きな物となっており、様々なご協力を頂き保育を進めさせて頂いています。職員一同、心から感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりましたが、お忙しいところ、アンケートにご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

ララランド戸塚（みんなともだち保育園）  
園長 程島 洋子

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり